

安全衛生委員会議事録（第2回）

日 時	令和6年5月15日（水） 午後1時30分～午後2時30分	
場 所	シルバー人材センター会議室	
出席者	委員長	信田光隆（事務所長）
	委員	村瀬敏之（産業医） 埴原久美子（派遣会員）、大塚みさ子（派遣会員） 江口正美（派遣会員）、三浦大輝 富田泰弘（衛生管理者）
議事・報告	<p>1 あいさつ 新型コロナウイルスの患者数は減り、1週間に3～5人程。インフルエンザの患者は0人となった。今年の秋頃からコロナの予防接種の補助が始まる予定である。</p> <p>2 安全運転（視機能と運転を考える） 人は目から得る情報が8割を占めていることから、安全運転には視機能が重要になる。高齢になると視機能は低下するため定期的に眼科検診を受けるとよい。 ・委員各自の目のケアについて紹介してもらい参考にさせていただいた。</p> <p>3 暑熱順化について 暑熱順化とは、体が暑さに慣れることを意味し、本格的な夏の到来前に運動等で汗をかいて体を慣らし、暑さに備えるとよい。 また、高齢者は温度に対する感覚が弱くなり熱中症にかかりやすいので、水分補給を計画的に摂ると良い。 ・委員各自の熱中症対策について紹介してもらい参考にさせていただいた。</p>	
決定事項	今回の議事録をウェブサイトに掲載して広く会員に周知して、安全運転及び熱中症対策に務めていただく。	
産業医指導	パソコンやスマートフォン等の操作から、眼精疲労となり、肩こり、頭痛、目眩等を発症する可能性があるため注意して頂きたい。 熱中症対策に限らず、普段から水分補給を意識的に行い、1日の摂取量は、1,000～1,500mlを目安にして頂きたい。	